

# びとう和広後援会ニュース

16号外 No. 1  
発行日：2016年6月18日  
発行責任：びとう和広後援会  
会長：浅居繁樹

## 四期目に挑戦！ 頑張ります！

後援会の皆様の力強いご支援に心から感謝いたします。  
皆様からのご意見をもとに、本当の「安心のまち・三田」を  
創ります。しっかり審議ができる議会こそ「まちづくりの柱」  
と考え、「将来への責任」を果たすために、皆様のご支援に  
応えられるよう、力一杯頑張ります。



## 「びとう和広」4つの政策！

- 「しっかり財政」 民間企業の視点と発想で、税金の使い方をただし、効率・効果を図ります。
- 「にっこり安心」 医療サービスの整備と充実で、安心して暮らせる地域型福祉を進めます。
- 「のびのび育成」 出産・育児・教育・就職に対し、一貫した支援体制を確立します。
- 「いきいき活力」 三田の特性を活かした商工観光の推進と企業誘致・雇用拡大を図ります。

## 『びとう和広』後援会会員 拡大活動を展開！！



びとう和広後援会  
定期総会で  
市政報告

「びとう和広」の民間企業の視点に立った政策と、子を持つ親として考える三田の将来像に共感頂き、更なる後援会会員拡大に向けて取り組んでいます。皆様のご紹介を宜しくお願い致します。

「びとう和広」は、皆様に市政に送っていただいていた12年間、「皆様の声を市政に！」をモットーに、できる限り皆様のお宅や職場にお伺いするとともに、後援会行事を通してお会いし、ご要望・ご提案を頂いてまいりました。

現在も後援会会員の皆様のお宅を訪問し、また、皆様から新たにご紹介戴いたご家庭にもお伺いし、お話をさせて頂いています。これからも、対話が大切と考え、皆様から頂いた声をしっかりと市政に届けてまいります。皆様のご支援をいただけるよう、精一杯頑張ります。

びとう和広後援会  
新会長  
浅居繁樹



### 【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号  
三菱電機労働組合三田支部気付  
Tel:079-563-1860 Fax:079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号  
Tel:&Fax:079-562-8653  
<電子メール> [bit@venus.dti.ne.jp](mailto:bit@venus.dti.ne.jp)  
<ホームページ> <http://www.Bito-Kazuhiro.com>

# にっこり安心

市民病院中心の連携医療体制と、救急やリハビリの体制強化を進めてきました。市民病院の医師・看護師の増員、腎臓内科等の復活、全病床運用の復活、駐車場増設など運営も財政も改善できました。

休日応急診療センターは、私の県所有地有効活用の提案に、休日当番医輪番制の各病院負荷軽減を合わせた事業として実現し、大きな成果となりました。

消防署は、広い三田に対応し、西分署に続き、東分署も開設され、救急車・消防車とも常駐されました。

警察や地域のパトロール強化／声かけ活動・防犯カメラの設置など、犯罪抑止事業を推進しました。

今年4月、富士が丘に「リハビリテーション病院」が開設しました。(リハビリ病棟 60床・一般病棟 9床)

これにより、切れ目のない医療・介護支援体制が整いました。



待望の三田リハビリテーション病院

# のびのび育成

お子様の医療費助成制度では、中学校卒業まで医療費・入院費は無料で、家庭の所得制限はありません。フラワータウンの多世代交流館のように、子育て相談・情報提供など経験豊富な先輩に話を聞くことやパパママの事前体験研修はとても有意義と考え、拡充を訴え、キッピーモールと駒ヶ谷体育館に新たな子育て交流広場ができました。

待機ゼロをめざした保育施設の充実、市立幼稚園の園区自由化・預かり延長・芝生園庭、などを実現。

放課後児童クラブの拡充を訴え、学年制限撤廃・時間延長・施設充実などを実現しました。

これからは教育のIT化が必要と訴え、先生全員へのパソコン支給と、電子黒板やパソコン・タブレット端末などの導入を実現しました。

これからも一層の子育て支援として、保育体制の強化、病児保育の強化、子どもの居場所づくり拡充などを進め、安心して働きながら子育てが出来る体制作りを図るとともに、教育や就職への連携した支援体制の確立をめざします。



芝生園庭で元気一杯の運動会

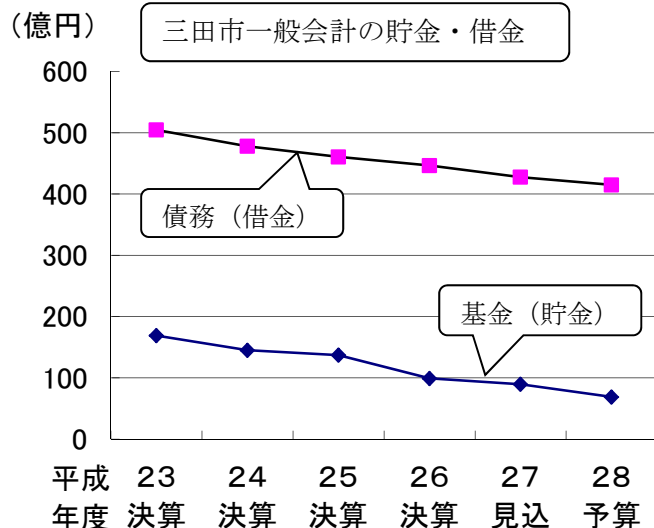
# 「びとう和広」 3期12年の成果！

## しっかり財政

三田市の一般会計は、平成27年度見込で4年前に比べ、貯金 79.4 億円減・借金 77.1 億円減となります。新庁舎に 55.1 億円の貯金を取り崩して建設したため、貯金が大きく減りましたが、予定の範囲で済み、確実に借金を削減しました。

予算や決算審議では、私が訴えていた事業別の目的と成果で審査・検証しています。

これからも、民間の感性・手法を活かして効率的で効果的な事業を推進します。



## いきいき活力

三田は高速道路の結節点で、大阪・神戸に1時間以内で出られる要衝の地です。自然と都市化のバランスも程よい中間都市で、多くの観光資源や自然を活かした事業により、まちづくりを推進してきました。

若者が三田に住み、三田で働くことで、三田が元気になると考え、第二テクノパーク(全97haの内、約60ha)への企業誘致を推進してきました。現在は、開発が完了しました。

空き家・空き店舗の再利用促進を図り、住宅地の安全とブランド維持、地域力の向上を促し、都市環境の整備と子育て支援「子育てするなら絶対三田」で子育て世代の呼び込みを進めてきました。

主要駅周辺の活性化として三田駅周辺では、キッピーモール南のBブロックが平成28年度完成予定です。あわせて、新三田駅周辺・相野駅周辺の開発にも取り組んでいます。

